

# おきたま 社会教育情報

Vol. 180 令和7年10・11月号 合併号

## 第16回山形県社会教育研究大会 (兼)令和7年度置賜社会教育振興大会

10月17日(金)、ダリアの花が最盛期を迎える秋晴れの川西町に、421名の参加者の皆様をお迎えし、川西町フレンドリープラザ、JA山形おきたま本店、川西町役場を会場に、標記大会を開催しました。

「人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育」～「人らしき人」を求めて～のテーマのもと、県及び地区表彰、伝統芸能発表、分科会を行う中で、山形県における「人づくり」について、改めて考えを深める一日となりました。

伝統芸能発表では、県指定無形文化財でもある「小松豊年獅子踊」を川西町立川西中学校 郷土芸能クラブの皆さんより披露いただきました。その生命力に満ち、躍動感あふれる踊りからは、地域の宝を人から人へ、自分たちの手で守り、これからもつないでいくのだ、という気概を感じました。参加者からは「中学生の踊りに胸が熱くなった。」「好循環の人づくりがなされていると感じた。」等の声が聞かれました。川西町が体現する熱心な「人づくり」の取組みに込められたメッセージを、参加者の方々がしっかりと受け取ってくださったものと確信しています。

分科会では、置賜から「命の尊さについて学ぶ講座～正しい知識を身に付けて体と心を守る～」というテーマで米沢市教育委員会の若井 彩子 氏、「地域と学校が連携して育む伝統芸能～小松豊年獅子踊の取組みから～」というテーマで川西町小松豊年獅子踊会会長の原田 正明 氏、川西町立川西中学校校長の矢野 齊 氏の3名から話題提供をしていただきました。分科会の共通テーマは「人づくり」です。どちらも切り口は違えども、確かな実践にもとづく「人づくり」における成果や課題について、苦労や工夫、日ごろ感じている思いなどを交えながら紹介いただき、参加者の皆様とともに未来の社会教育に向けてできることは何か、思いを巡らせていました。

この大会を開催するにあたり、会場地の川西町教育委員会教育文化課と政策推進課、置賜管内の教育委員会社会教育主管課、各地区教育事務所社会教育課、県教育局生涯教育・学習振興課の皆様から多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。次年度の大会は庄内地区(酒田市)を会場にして行われます。県内各地区的取組みを知り、新たな学びにつながる本大会のよさをこれからもつないでいっていただければと思います。



開会のあいさつ  
実行委員長 宇山栄一



川西町立川西中学校  
郷土芸能クラブによる  
小松豊年獅子踊の披露



開会行事 来賓祝辞



# 総合型地域スポーツクラブサミット in 山形

2025年

9月6日(土)

米沢市「すこやかセンター」で、県内の関係者が一堂に会し、クラブの一層の発展・充実や魅力づくり、安定した経営に向けた研修会を行いました。午前中は「基調講演×パネルディスカッション」、午後からは「分科会（3つの分科会）」で、今後の総合型地域スポーツクラブの在り方や協働について考えを広めることができました。また、デジタルの進歩やeスポーツの普及など、これから社会で求められることも体験することができ、今回の研修会をきっかけとして、今後各総合型クラブで今後取り組んでくれることを期待したいと思います。



## 郷土の魅力発見・体験プログラム

11月2日（日）に長井市伊佐沢地区の文化祭において、少年少女念佛踊りが披露されました。例年伊佐沢小学校の児童が発表しているのですが、今年度は郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業「おきたまジモディ（じもと×study）プログラム」の一環として、地元の中学生も参加し、発表を盛り上げました。この事業は「中学生が企画・実施する、小学生向けの地域のよさを体感できるプログラム」を公民館・コミュニティセンター等で実施することで、参加した小学生が、中学生になった時に事業を企画・実施していく地域を学び、地域に貢献する循環をつくることを目的としています。また、郷土に誇りと愛着を持ち、地域社会の担い手となる心を育成することも目的の一つです。

今年度は、伊佐沢地区コミュニティセンターで実施しました。コミセンの方々の主導のもと、参加してくれる中学生を募り、伊佐沢念佛踊りについての勉強会や中学生だけの練習会を行うなどしながら準備を進めました。小学生との合同練習の際には、音の強弱や細かい振付について優しく教えていた姿が見られました。小学校時代に経験したこととはいえ、数年経っても体に沁みついている様子から、地域の伝統文化が確実に引き継がれていることに感銘を受けました。また、当日は地域の方々も多く集まり、温かい雰囲気のもとすばらしい発表が行われました。

## 子どもの読書活動推進研修会

11月13日（木）米沢市市民文化会館を会場に、舟山康子氏（絵本専門士・市立米沢図書館職員）を講師に迎え、標記研修会を実施しました。「絵本専門士による大人のための絵本講座～2025 今を生きる絵本、その魅力と可能性～」の題で講話をしていただきました。

絵本の現状についてはスライドにまとめて分かりやすく説明していただきました。また、読み聞かせの実演もあり絵本が持つ魅力や可能性について学ぶことができました。

参加した方からは「本選びの視点や好きな本がだいぶ以前のものばかりだったので、今日のお話はとても新鮮だった」「心に残る絵本を知ることができ、心が動かされた」「講師の先生の『絵本は楽しい』という気持ちがとても伝わってきた。自分が楽しむ気持ち大切だと感じた」などの感想をいただきました。早速、それぞれの現場でそれぞれのお立場から実践いただければと思います。

県では令和6年度から「第4次山形県子どもの読書活動推進計画」を策定し、本が好きな子どもの育成に取り組んでいます。今後も子ども達を取り巻く読書環境づくりに向けた研修会を計画していますので、ぜひたくさんの方々のご参加をお待ちしております。



→県HP上で本紙のデジタル版・バックナンバーがご覧いただけます。



→社会教育課Instagramも要チェック！

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課

TEL:0238(88)8241】